

資源循環に関する考え方

世界的に人口増加を背景とした経済発展や利便性の追求により、資源消費のスピードが加速する中、資源枯渇リスクを軽減するためには、資源循環の取り組みが重要です。当社は、これまで取り組んできた廃棄物・排出物の最小化を継続しつつ、再生材の利用促進や、リサイクルしやすい低環境負荷商品の拡大といった資源循環の取り組みを強化しています。

当社商品の主素材の一つであるポリ塩化ビニル（塩ビ）は、優れた加工性・耐久性・経済性を併せ持つ素材として、建築業界で広く使用されていますが、複合的な素材として活用されていることによって、リサイクルが困難な状況となっています。塩ビのリサイクル化は当社だけでなく業界全体の課題であり、素材メーカーやリサイクル業者と連携した取り組みを推進していきます。

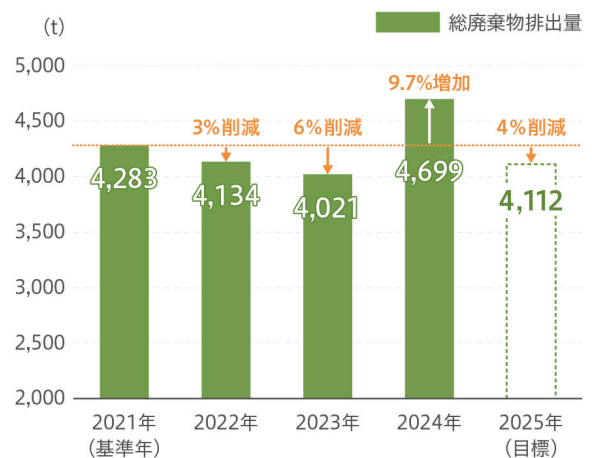
目標・実績

総廃棄物量削減

サンゲツ単体 基準年度2021年度：4,283t

2024年度	目標	4,197t	2021年度比 3%削減
	実績	4,699t	2021年度比 9.7%増加
2025年度	目標	4,112t	2021年度比 4%削減

サンゲツ単体総廃棄物量

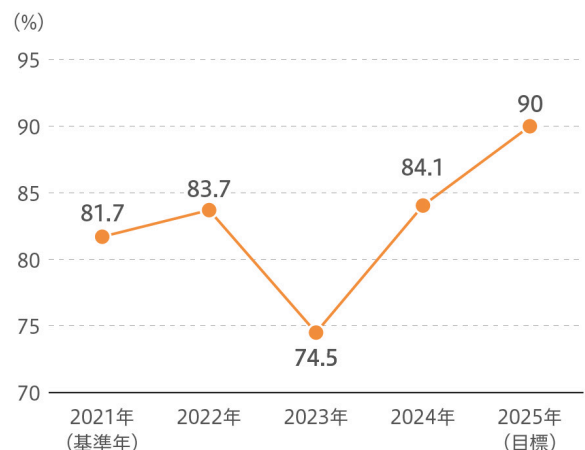


リサイクル率

サンゲツ単体

2024年度	目標	88%
	実績	84.1%
2025年度	目標	90%以上

サンゲツ単体リサイクル率



リサイクルシステムの構築

広域認定制度の活用

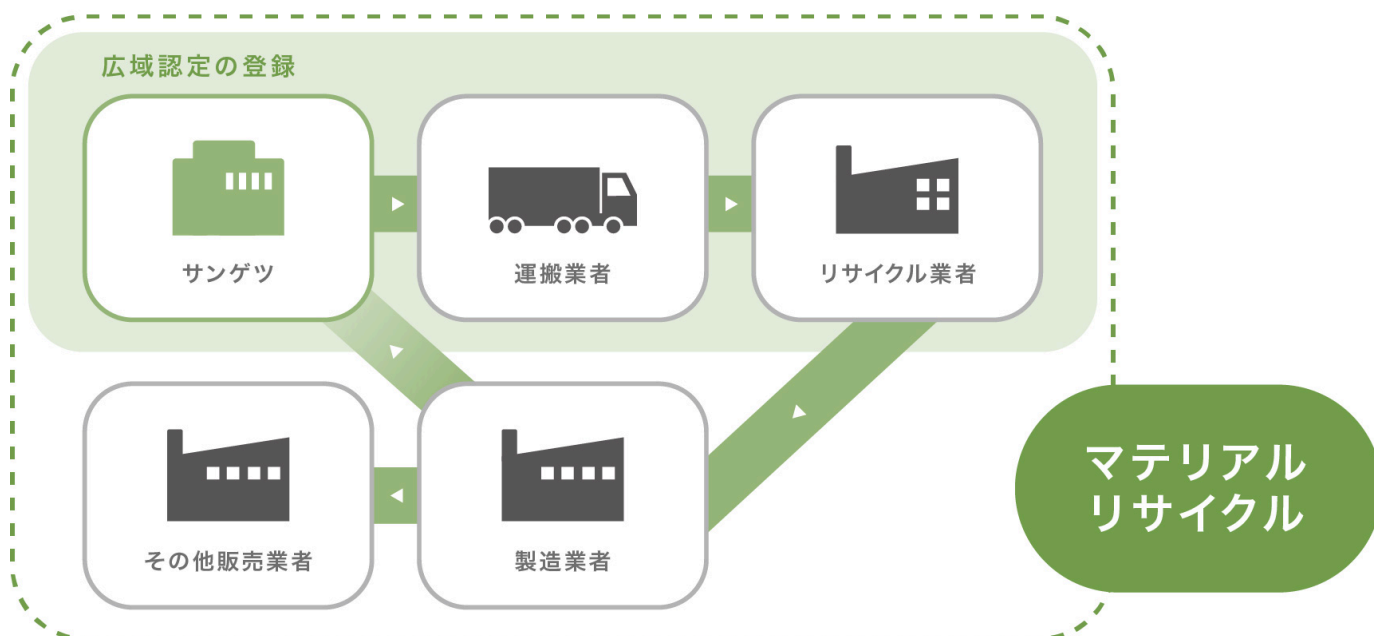
当社は、リサイクルの取り組みを一層強化するため、ロジスティクスセンターで排出されるカット端材やデッドストックなど未利用材を対象とした「広域認定」を2023年に取得しました。広域認定とは、「廃棄物処理法」に基づく特例制度であり、この認定に登録した当社および廃棄物の処分に関わる事業者は、従来必要だった都道府県ごとの廃棄物収集運搬業・処分業の許可を不要とし、全国で指定した廃棄物の回収・リサイクルが可能となります。この認定取得は、これまで一部しかリサイクルできていなかった未利用材のリサイクルを大きく前進させるものです。今後は、リサイクル業者および再資源化した原料を使用する製造業者との連携強化により、自社内での循環システムの拡大を推進します。

廃棄物の流れ（広域認定取得前後の比較）

従来の産業廃棄物処理ルート



広域認定下での処理ルート



カーペットタイル・リサイクル



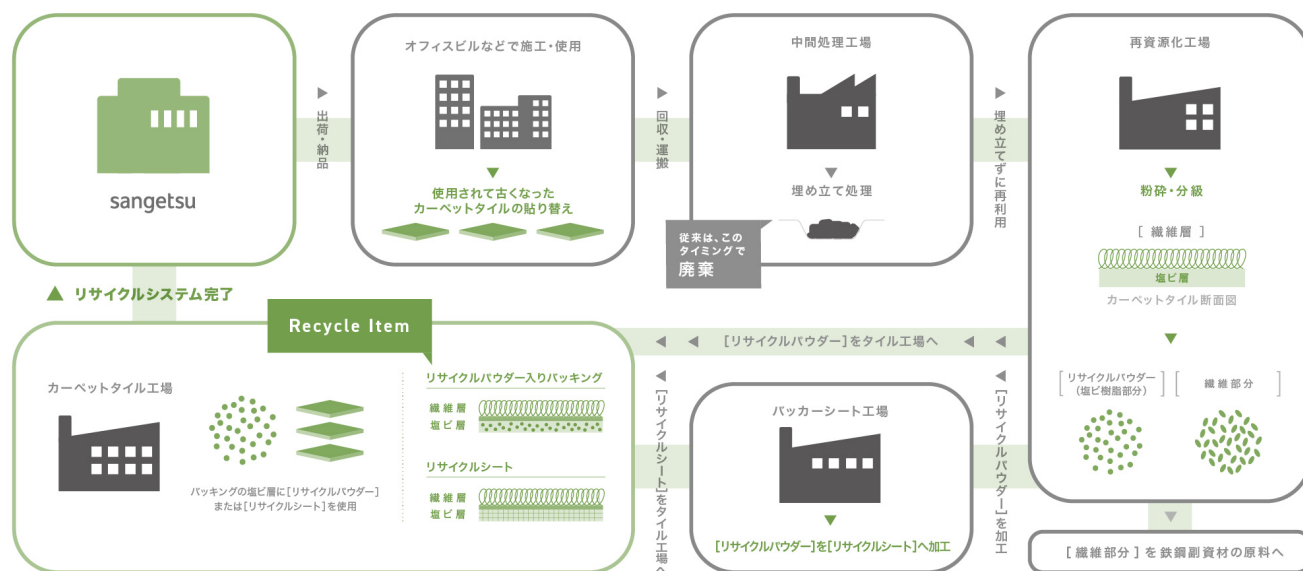
当社のカーペットタイルは、廃カーペットタイルを特殊技術によりリサイクルした再資源原料をバックング層に使用した環境配慮商品です。

また、カーペットタイル（Double Eco + Wellness）は、表面のパイルと裏面のバックング材にダブルでエコ素材を使用することで、環境負荷の低減に貢献しています。パイルには漁網やカーペット廃材などをリサイクルした100%リサイクル糸「エコニール(R)」を採用し、裏面のバックング材には、使用済カーペットタイルの廃材を再利用した「リサイクルバックング」を用いることで、CO2排出量を当社従来品比で最大約61%削減します。また、再生材比率は最大約49%を実現しています。

カーペットタイル・リサイクルの仕組み

Sangetsu Carpet Tile Recycle System

サンゲツ カーペットタイル リサイクルシステム



カーテン・リサイクル



当社では、環境保全への取り組みの一環として2000年10月より「サンゲツカーテン・エコプロジェクト」を進めています。下記のような専用タグラベルが付いているカーテンについては、当社が責任を持って回収し、資源循環の観点から、再び原料として商品に生まれ変わらせます。



表面（例）



裏面（例）

回収の手順



回収したカーテンは素材、加工状態の違いによってそのリサイクル処理法が異なります。当社では、再資源化するケミカルリサイクル、固形燃料など熱源にするサーマルリサイクルに分類しています。

カーテンリサイクルの申込フォームはこちら

> https://biz.sangetsu.co.jp/regist/is?SMPFORM=qcti-litdqf-4e0d7f65fd7c6fd3ec0028fc4e82db9d&_gl=1*1xxoh15*_ga*MTEzMzI1ODcxMi4xNjk4ODE5MTE5*_ga_84EXXWDYNY*MTcyNDM5MDEwNy40MjUuMS4xNzI0MzkxNjI2LjU1LjAuMA..&_ga=2.257250249.379035191.1724030649-1133258712.1698819119

リサイクル活用法



※出荷ロスなど端材のリサイクルも含みます。

※回収したカーテンは商品のリサイクル方法ごとに分別したうえで、リサイクルを行っています。

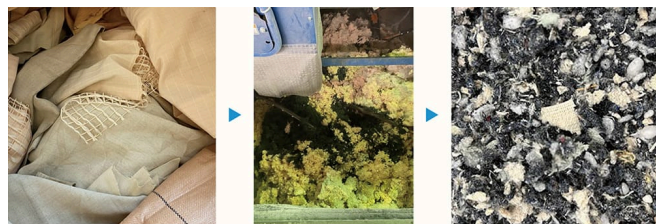
※リサイクル活用法については、技術革新やその他の理由で変更になる場合があります。

「TUTTI®※」とのコラボレーションで、使用済みのカーテンをリサイクル

「TUTTI（トゥッティ）」とは、ポリエステル繊維を主体に人工ゼオライトなどを特殊配合した”繊維でできた土”です。サンゲツはスタイルム瀧定大阪株式会社と協働し「サンゲツカーテン・エコプロジェクト」により回収されたポリエステル製のカーテン生地を原材料の約20%に使用、オリジナル版の「TUTTI」を製作しています。使用済みのカーテンを活用し新たな価値ある製品に再生する、マテリアルリサイクル商品です。

※「TUTTI」はスタイルム瀧定大阪株式会社が展開するポリエステル繊維リサイクル培地の登録商標です。

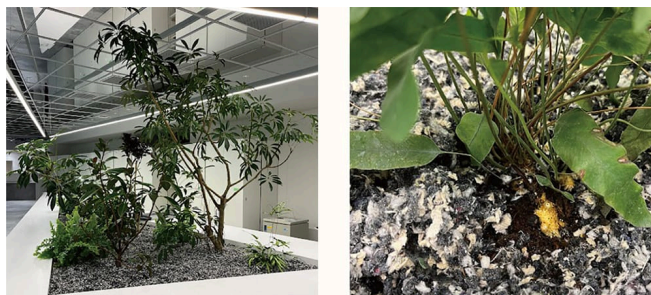
使用済みカーテンが「TUTTI」に生まれ変わるまで



「サンゲツカーテン・エコプロジェクト」により回収されたカーテン

カーテンを粉碎し、人工ゼオライトなどと混練

完成したオリジナル「TUTTI」



PARCsに施工した「TUTTI」

見本帳リサイクル

当社見本帳は、約12,000点にもおよぶ多数の商品をお客さまにご覧いただくための重要なビジネスツールである一方、年間で約150万冊発刊されており、使用後の見本帳はさまざまな場所で、リサイクルされずに廃棄されています。この環境負荷への対応として、見本帳のリサイクルを行っています。2021年3月に設置した「見本帳リサイクルセンター」では、さまざまな素材が混在している当社見本帳を分別し、マテリアルリサイクルとして資源循環を行っています。

また、同センターにおける見本帳リサイクルの作業スタッフには、障がい者を雇用することで、障がい者の活躍を支援しています。

今後も、さらなる作業の効率化や関連事業者との連携を進め、見本帳リサイクルの取り組みを推進します。

使用済み見本帳のリサイクル冊数 (2024年度)



本社内見本帳リサイクルセンター



分解作業の様子



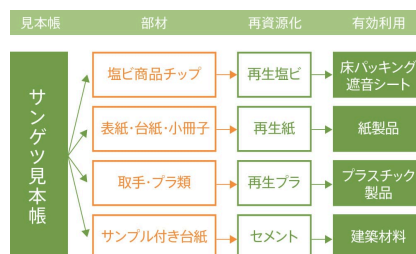
分解した現品のチップ

見本帳リサイクルを促進し、環境負荷を低減

見本帳リサイクルセンターでは、顧客より回収した見本帳を、リサイクルを行うための前工程として、表紙、台紙、サンプルチップに分解し、素材ごとに分別します。分別された素材は、その後、リサイクル専門業者にて、再生塩ビ、再生紙、再生プラスチック、セメント材料へとマテリアルリサイクルされます。

2023年度以降は対象地域を拡大し、見本帳のリサイクル処理キャパシティの拡大とともに、デジタル見本帳の活用による見本帳発刊総数の削減を進めることで一層の環境負荷低減に取り組みます。

見本帳リサイクルフロー図



● TOPICS

ミサワホームとの協業

当社とミサワホーム株式会社（以下：ミサワホーム）は、100%リサイクル原料を使用した人工木ウッドデッキ「フォレストウッド™」を共同開発しました。本製品は、当社の「見本帳リサイクルセンター」で分解して得られる見本帳のバインダー部材をリサイクル原料の一部とし、ミサワホームの再生木材リサイクル技術により、アップサイクルしたエクステリア商品です。天然木のような質感と耐久性を持ち、全ての原料がリサイクル可能です。建築業界においては、環境への意識の高まりから、社会の持続可能性を考慮した建築資材へのニーズが拡大しています。両社は「空間提案」という共通事業領域における共創を通じて、持続可能な資源循環型社会の実現に貢献していきます。



人工木ウッドデッキ フォレストウッド™
ブラウン GW-10004



再生木材リサイクルチップ



回収した見本帳から分解したバインダー部材

展示品や廃棄商品の有効活用



ショールーム展示品や廃棄商品については、保育園や学童保育所、社会活動を行うNPOに寄付しています。

これらのカーテン生地は、従来は廃棄処理されていたものですが、各施設では備品や玩具への装飾、園児・児童達の創作品として利用されています。

また、災害時の避難活動を支援するNPOでは間仕切りのカーテンとして有効活用されています。